

# 令和8年度 小平市立上宿小学校 学校評価計画表

<b>学校教育目標</b>	◎かしい子 豊かな情操に支えられた創造的思考力の育成 ◎がんばる子 ねばり強く追求する意志力の育成	○やさしい子 相手の心情を考えるやさしさと連帯感の育成 ○じょうぶな子 心身ともに健康で前向きに生きる力の育成
---------------	--	--

<b>目指す学校像(ビジョン)</b>		
【目指す学校像】	「楽しい」「明日も来たい」上宿小 ～学校にかかわるすべての人の誇りとなるように～	
【目指す児童・生徒像】	めあてをもって自ら学び続ける上宿の子	
【目指す教員像】	人を大切に、個別最適な学びと協働的な学びとなる授業実践を目指し、学び続ける教員	

**前年度までの学校経営上の成果と課題**  
 ○9割の保護者や地域の方が、学校からの情報がよく伝わっていると感じている。 ○校内研究の取組により、児童の学習のめあてを持つ意識が向上した。  
 ▲児童の基礎的・基本的な学習内容の定着が十分ではない。 ▲CSとしてプロジェクトチームの取組、教育課程説明会は実施したが保護者・地域の方々のCSに対する認知が不十分である。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
個別最適な授業の実践	各教科において主体的・対話的で深い学びとなるように個別最適な学びとなる授業をする。	児童が自分に合った学習課題及びめあてをもって、学び続ける意欲を高める授業改善を図る。	授業のねらいの明確化や児童に考えさせるための発問、ICTの活用を生かした個別最適な学びを取り入れ、全学年で校内研究授業を行う。	4 複数の教科で、児童の学び続ける意欲を高める授業改善に取り組む	4 児童の自己評価で、満足度90%以上
			活用のねらいを明確にして、学習者用端末を活用する。	3 複数の単元で、児童の学び続ける意欲を高める授業改善に取り組む	3 児童の自己評価で、満足度80%以上
				2 特定の単元で、児童の学び続ける意欲を高める授業改善に取り組む	2 児童の自己評価で、満足度70%以上
				1 特定の授業で、児童の学び続ける意欲を高める授業改善に取り組む	1 児童の自己評価で、満足度70%未満
学力向上	どの子にも分かる授業を心掛け、児童の学ぶ意欲を高めるとともに、学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識及び技能を、すべての児童が身に付ける。	年間を通して、週2回の朝学習(東京ベーシック・ドリルおよびデジタルドリル)に取り組む。 東京ベーシック・ドリルの診断テストで平均正答率を7割にする。	4 朝学習に、確実に週2回取り組む	4 診断テストの正答率が80%以上
			学年の読書目標を設定をし、語彙を増やし言語能力を高める。	3 朝学習に、概ね週2回取り組む	3 診断テストの結果が70%以上
				2 朝学習に、週1回以上は取り組む	2 診断テストの結果が60%以上
				1 朝学習に、週1回は取り組む	1 診断テストの結果が60%未満
健全育成	いじめ・不登校のない学校づくりを推進する。	基本的な生活習慣の定着と道徳教育の充実を通して、互いのよさに目を向けられるようにする。	週2回の朝読書や年2回の読書旬間で学年に応じた読書の目標設定を行い、年間の目標を達成する。	4 朝読書に、確実に週2回取り組む	4 保護者アンケートによる肯定的な回答が80%以上
			いじめを題材にした道徳の授業を全学年級で学期に1回実践し、いじめの未然防止の取組を行う。	3 朝読書に、概ね週2回取り組む	3 保護者アンケートによる肯定的な回答が70%以上
				2 朝読書に、週1回以上は取り組む	2 保護者アンケートによる肯定的な回答が60%以上
				1 朝読書に、週1回は取り組む	1 保護者アンケートによる肯定的な回答が60%未満
体力向上	意図的・計画的に運動に継続して取り組む習慣を身に付けさせ、運動が好きなこどもの育成を図る。	運動に対する意欲を高め、日常的に運動に親しむことができるようにする。	めあてをもち、運動へ取り組み、振り返りという学習の流れを体育の学習で実践する。	4 全ての児童アンケートや学校いじめ対策委員会、日常的な行動観察により実態把握し未然防止に取り組む	4 保護者アンケートによる肯定的な回答が80%以上
				3 主に互いのよさに目を向けられる道徳教育に取り組む	3 保護者アンケートによる肯定的な回答が70%以上
				2 主に基本的な生活習慣の定着に関する道徳教育に取り組む	2 保護者アンケートによる肯定的な回答が60%以上
				1 いじめを題材にした道徳の授業を、学期に1回実施する	1 保護者アンケートによる肯定的な回答が60%未満
地域との連携	小・中連携や地域住民の協力により、コミュニティ・スクールとして、地域と協働して教育活動を進める。	ゲストティーチャーや地域の教材化などを計画し、保護者・地域と連携した教育活動を展開する。	生活科、総合的な学習の時間に地域資源を活用した学習を各学年で実践する。	4 地域の児童アンケートや学校いじめ対策委員会、日常的な行動観察により実態把握し解消に取り組む	4 教職員の自己評価で、肯定的回答が90%以上
				3 毎月の児童アンケートや学校いじめ対策委員会、定期的な行動観察により実態把握し解消に取り組む	3 教職員の自己評価で、肯定的回答が70%以上90%未満
				2 毎月の児童アンケートや学校いじめ対策委員会、日常的な行動観察による実態把握に取り組む	2 教職員の自己評価で、肯定的回答が50%以上70%未満
				1 毎月の児童アンケートと学校いじめ対策委員会開催に取り組む	1 教職員の自己評価で、肯定的回答が50%未満
働き方改革	すべての教職員がいきいきとこどもに向き合えるようにする。	学校運営に関わることを、分掌や学年で相談し、主任を中心として効果的・効率的にすすめる。	会議や学校行事における取組の精選等を行い、分掌や学年で相談する時間及び授業準備の時間を確保する。月45時間を超える時間外勤務をなくす。	4 地域の児童アンケートや学校いじめ対策委員会、日常的な行動観察により実態把握し解消に取り組む	4 児童の自己評価で、満足度90%以上
				3 年10回の学校経営協議会で学校課題解決策について協議する	3 児童の自己評価で、満足度80%以上
				2 年10回の学校経営協議会で学校課題について協議する	2 児童の自己評価で、満足度70%以上
				1 年10回の学校経営協議会を開催する	1 児童の自己評価で、満足度70%未満